

回北陸血管症例検討会, 2003, 10, 金沢.

69) 土岐善紀, 一木克之, 津田基晴, 三崎拓郎, 薄田勝男, 杉山茂樹: Complete Port-Accessed Lobectomy(CPAL) all muscle sparing method. 第20回日本呼吸器外科学会, 2003, 5, 東京.

70) 土岐善紀, 一木克之, 津田基晴, 三崎拓郎, 薄田勝男, 原 祐郁: CBDCA+PTXによる照射併用induction therapy. 第20回日本呼吸器外科学会, 2003, 5, 東京.

71) 山下昭雄, 鈴木恵美子, 島津親志, 関 功二, 三崎拓郎: 腹部大動脈瘤と冠血行再建術の一期的手術 -OPCABを導入して-. 第31回日本血管外科学会学術総会, 2003, 5, 金沢.

72) 津田基晴, 三崎拓郎: 早期胃癌合併食道癌に対して食道切除後に十二指腸癌に対して臍頭十二指腸切除術を行った1例. 第80回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2002, 12, 金沢. (2002年追加) 2003, 5, 金沢.

73) 阿部吉伸, 上山武史, 小杉郁子, 笠島史成, 遠藤將光, 松本 康, 佐々木久雄: MFBIA法によるリンパ浮腫の容積評価. 27回日本リンパ学会総会, 2003, 6, 東京.

74) 井原 頌, 古田豪記, 山口敏之: 傍腎動脈 腹部大動脈瘤の1治験例. 第54回長野県医学会, 2003, 11, 長野.

75) 小杉郁子, 笠島史成, 阿部吉伸, 遠藤將光, 松本 康, 佐々木久雄: 急性動脈閉塞に対するDuplex scanの役割. 65回日本臨床外科学会総会, 2003, 11, 福岡.

76) 井原 頌, 古田豪記, 湖東慶樹: IEによるAVR術後5年で再手術を要したARの1例. 第127回日本胸部外科学会関東甲信越地方会, 2003, 9, 東京.

77) 井原 頌, 古田豪記, 湖東慶樹: 超高齢者VSPの1例. 第189回日本循環器学会関東甲信越地方会, 2003, 9, 東京.

78) 山下昭雄, 関 功二, 島津親志, 三崎拓郎: 超高齢者に対する下肢血行再建術症例の検討. 第13回北陸MMC研究会, 2003, 10, 金沢.

◆ その他

1) 阿部吉伸: リンパ浮腫に対する複合的理学療法の実状. 3回日本リンパ浮腫治療研究会市民公開講演会, 6, 2003, 東京.

2) 阿部吉伸: リンパ浮腫に対する容積評価と漢方治療. 4回日本リンパ浮腫治療研究会市民公開講演会, 11, 2003, 福岡.

外 科 学 (2)

Surgery (2)

教 授	塚田 一博	Kazuhiro Tsukada
講師(前)	齊藤 光和	Mitsukazu Saito
講 師	阿部 秀樹	Hideki Abe
講 師	南村 哲司	Tetsuji Minamimura
助 手	坂東 正	Tadashi Bando
助 手	魚谷 英之	Hideyuki Uotani
助手(前)	濱名 俊泰	Toshiyasu Hamana
助 手	笹原孝太郎	Kohtaro Sasahara
助手(前)	岸本 浩史	Hiroshi Kishimoto
助 手	野澤 聡志	Satoshi Nozawa
助 手	横山 義信	Yoshinobu Yokoyama
助 手	長田 拓哉	Takuya Nagata
助手(前)	湯口 卓	Takashi Yuguchi
助 手	吉野 友康	Tomoyasu Yoshino

◆ 著 書

- 1) 塚田一博, 宮崎 勝, 山口明夫: Physical Symptoms and Signs for Postgraduate Training. 南江堂, 2003.
- 2) 長田拓哉, 廣川慎一郎, 塚田一博: 肝臓手術後(肝切除後の輸液). アルブミン臨床マニュアル, 163-168, メディカルレビュー社, 2003.
- 3) 塚田一博, 他: 医学大辞典, 医学書院, 2003.

◆ 原 著

- 1) Onishi Y., Tsukada K., Yokota J. and Raz A.: Overexpression of autocrine motility factor receptor (AMFR) in NIH 3T3 fibroblasts induces cell trans-formation. Clinical and Experimental Metastasis 20:51-58, 2003.
- 2) Sawada S., Yoshimoto M., Odintsova E., Hotchin N. A. and Berditchevski F.: The Tetraspanin CD151 Functions as a Negative Regulator in the Adhesion-dependent Activation of Ras. The Journal of Biological Chemistry, 278 : 26323-26326, 2003.
- 3) Tsuchiya Y., , Sawada S., Yoshioka I., Ohashi Y., Matsuo M., Harimaya Y., Tsukada K., Saiki I.: Increased surgical stress promotes tumor metastasis. Surgery, 133:547-555, 2003.
- 4) 塚田一博, 阿部秀樹, 坂東 正, 長田拓哉, 野澤聡志: 胆嚢癌における肝臓合併切除の意義. 臨床外科, 58:185-187, 2003.
- 5) 有賀浩子, 湯口 卓, 千須和寿直, 大森敏弘, 田内克典, 小池秀夫: 乳癌手術におけるクリニカ

ルパス導入の成果. 日本臨床外科学会雑誌, 64:778-784, 2003.

- 6) 齊藤素子, 梨本 篤, 藪崎 裕, 太田玉紀: 多発胃癌の経時的変遷. 日本臨床外科学会雑誌, 64:310-316, 2003.

◆ 症例報告

- 1) Hirokawa S., Uotani H., Futatani T., Sasaki Y., Ogawa J., Sakai M., Tsukada K. and Saito S.: A case of body stalk anomaly arising in the second baby of a triplet pregnancy after invitro fertilization and embryo transfer. *Pediatr. Surg. Int.* 19:223-225, 2003.
- 2) Hirokawa S., Uotani H., Okami H., Tsukada K., Futatani T. and Hashimoto I. A case of congenital midline cervical cleft with congenital heart disease.
- 3) 唐木芳昭, 齊藤文良, 土屋眞一: Matrix-producing carcinomaの1例. 乳癌の臨床, 18:452-455, 2003.
- 4) 坂東 正, 長田拓哉, 野澤聡志, 阿部秀樹, 塚田一博, 霜田光義: 胆嚢穿孔をきたしたCholechoceleの1例. 胆道, 17:441-446, 2003.

◆ 総 説

- 1) Abe H., Tanaka K., Sugiyama S., Katamoto T. and Makuuchi M.: CT findings of cystic duct carcinoma two years before obstructive jaundice. *Hepato-Gastroenterol.* 50:24-26, 2003.
- 2) 塚田一博, 長田拓哉, 阿部秀樹, 南村哲司, 山岸文範: カルチノイド. 外科, 65:1432-1435, 2003.
- 3) 塚田一博, 野本一博, 濱名俊泰, 吉田 徹, 津田祐子, 森田誠市: 移植医療の現状—とくに肝移植について. 富山市医師会報: 10-13, 2003.
- 4) 阿部秀樹, 塚田一博, 長田拓哉, 野澤聡志, 坂東 正: 胆嚢癌に対する膵頭十二指腸切除の意義. 外科, 65:429-433, 2003.
- 5) 阿部秀樹, 塚田一博, 窪田敬一, 幕内雅敏: 内視鏡的胆道ドレナージ. 臨床看護, 29:874-878, 2003.
- 6) 田中三千雄, 薄田勝男, 金山雅美, 伊藤博行, 七澤 洋, 坂東 毅, 坂東 正: 逆流性食道炎の内視鏡診断. 治療学, 37:479-482, 2003.
- 7) 南村哲司, 笹原孝太郎, 塚田一博: 括約筋合併切除肛門温存術における平滑筋付加肛門管形成術. 手術, 57:743-747, 2003.
- 8) 野澤聡志, 塚田一博, 阿部秀樹: 肝生検. 消化器外科, 26:738-742, 2003.

- 9) 長田拓哉, 阿部秀樹, 野澤聡志, 坂東 正, 山岸文範, 新井英樹, 塚田一博: 重症急性膵炎に対する外科的治療. 外科治療, 88:61-67, 2003.

◆ 学会報告

- 1) Horikawa N., Sakai H., Suzuki T., Tsukada K. and Takeguchi N.: Thromboxane-induced Cl⁻ secretion in isolated human colorectum. The Physiological Society Meeting at University of Cambridge, 2003, 12, Cambridge, UK.
- 2) Suzuki T., Sakai H., Horikawa N., Ukai M., Tauchi K., Minamimura T., Tabuchi Y., Tsukada K. and Takeguchi N.: Thromboxane A₂-stimulated proliferation of cultured human colonic cancer cells. The Physiological Society Meeting at University of Cambridge, 2003, 12, Cambridge, UK.
- 3) Ohira Y., Sakai H., Horikawa N., Minamimura T., Tsukada K., Tabuchi Y., Asano S. and Takeguchi N.: Expression of a novel splicing variant deleting exon 4 of ATP1A1, a nongastric proton pump, in human colorectum. The Physiological Society Meeting at University of Cambridge, 2003, 12, Cambridge, UK.
- 3) Takahashi Y., Suzuki T., Sakai H., Maeda M., Horikawa N., Minamimura T., Tsukada K. and Takeguchi N.: Lower expression of Na⁺, K⁺-ATPase α 1-isoform in human colorectal cancer. The Physiological Society Meeting at University of Cambridge, 2003, 12, Cambridge, UK.
- 4) 唐木芳昭, 齊藤文良, 大西雄太郎, 土屋眞一: 腹臥位ステレオ針生検装置を用いたマンモトーム生検. 第11回日本乳癌学会総会, 2003, 6, 新潟市.
- 5) 阿部秀樹, 塚田一博: 膵切研究会シンポジウム・膵切除術後の合併症と対策「第30回日本膵切研究会アンケート報告」第30回日本膵切研究会, 2003, 5, 金沢.
- 6) 野村邦紀, 濱名俊泰, 島多勝夫, 清水哲朗, 塚田一博: Herceptin同時併用放射線化学療法の初期経験. 第11回日本乳癌学会総会, 2003, 6, 新潟.
- 7) 若狭林一郎, 稲木紀幸, 菅原浩之, 新保雅宏, 清水哲朗, 霜田光義, 中村 暁, 国谷 等: 切開剥離法による消化管内視鏡的粘膜炎切除術の経験. 第81回日本消化器内視鏡学会北陸地方会, 2003, 6, 富山.
- 8) 清水哲朗, 松岡二郎, 橋本伊佐也, 大和太郎, 菅原浩之, 霜田光義, 村田修一: 術後感染サーベ

- イランスに基づいた院内感染対策の標準化. 第58回日本消化器外科学会総会, 2003, 7, 東京.
- 9) 菅原浩之, 高田全希, 稲木紀幸, 新保雅宏, 清水哲朗, 霜田光義, 村田修一, 若狭林一郎: 成人腸重積症を併発した盲腸癌の1例. 第255回北陸外科学会, 2003, 9, 福井.
- 10) 大森敏弘, 吉野友康, 添田純平, 小田切範晃, 千須和寿直, 田内克典, 小池秀夫: 標準化を目指したクリティカルパスの展開. 第5回医療マネジメント学会学術総会, 2003, 4, 仙台.
- 11) 千須和寿直, 大森敏弘, 田内克典, 小松 誠, 河西 秀, 有賀浩子, 小田切範晃, 吉野友康, 添田純平, 小池秀夫: 結腸癌待機手術症例に対するクリニカルパスが果たす役割の検証. 第103回日本外科学会総会, 2003, 6, 札幌.
- 12) 田内克典, 添田純平, 吉野友康, 千須和寿直, 有賀浩子, 小松 誠, 河西 秀, 大森敏弘, 小池秀夫: 胃小細胞癌にCPT-11/CDDP療法は有効か. 第58回日本消化器外科学会総会, 2003, 7, 東京.
- 13) 千須和寿直, 大森敏弘, 田内克典, 小松 誠, 河西 秀, 有賀浩子, 小田切範晃, 吉野友康, 添田純平, 小池秀夫: 胃癌に対する幽門側胃切除術のクリニカルパスの根拠とその効果. 第58回日本消化器外科学会総会, 2003, 7, 東京.
- 14) 千須和寿直, 田内克典, 大森敏弘, 北條荘三, 添田純平, 小田切範晃, 有賀浩子, 河西 秀, 小松 誠, 小池秀夫: 胃癌, 大腸癌の閉創時に皮下縫合は必要か. 第65回日本臨床外科学会総会, 2003, 11, 福岡.
- 15) 廣川慎一郎, 魚谷英之, 渡邊智子, 塚田一博, 山下芳朗, 伊川博道: 社会医学的活動および医学教育からみた地方大学病院における小児外科診療の検討—general surgeonを目指して—. 第40回日本小児外科学会総会, 2003, 5, 京都.
- 16) 廣川慎一郎, 魚谷英之, 塚田一博: Short stay surgeryとSurgical site infectionの検討. 第33回日本小児外科学会北陸地方会, 2003, 9, 福井.
- 17) 廣川慎一郎, 塚田一博, 魚谷英之: ワークショップ6 小児外科疾患の術後QOL: 小児鼠径ヘルニアに対するShort stay surgeryとSurgical site infection, SSI. 第65回日本臨床外科学会総会, 2003, 11, 福岡.
- 18) 阿部秀樹, 塚田一博, 長田拓哉, 野澤聡志, 坂東 正: パネルディスカッション・漿膜比露出(S0) 進行胆嚢癌の外科的戦略「ほぼ胆嚢に限局した進行胆嚢癌に対する姑息的胆嚢切除と化学療法の意味」肝胆膵外科学会, 2003, 5, 金沢.
- 19) 阿部秀樹, 塚田一博, 長田拓哉, 野澤聡志, 坂東 正: 肝外胆管閉塞に対する肝外胆管切除の位置付けに関する検討. 消化器外科学会, 2003, 7, 東京.
- 20) 阿部秀樹, 塚田一博, 長田拓哉, 野澤聡志, 坂東 正: 胆外胆管切除を行った胆嚢管癌と胆管癌の比較. 第39回日本胆道学会, 2003, 9, 金沢.
- 21) 阿部秀樹, 塚田一博, 野澤聡志, 長田拓哉, 坂東 正: パネルディスカッション・癌縮小手術の遠隔成績「肝外・膵外胆道癌に対する肝外胆管切除術の治療成績」. 臨床外科学会, 2003, 11, 博多.
- 22) 坂東 正, 津田祐子, 長田拓哉, 岸本浩史, 塚田一博: 門脈圧亢進症を有する消化器疾患に対する一期的外科治療. 第10回日本門脈圧亢進症学会総会, 2003, 9, 横浜.
- 23) 南村哲司, 笹原孝太郎, 長田拓哉, 魚谷英之, 新井英樹, 田澤賢次, 坂東 正, 阿部秀樹, 廣川慎一郎, 塚田一博: 括約筋合併切除を伴う肛門温存手術における平滑筋付加肛門管形成術. 第58回日本消化器外科学会総会, 2003, 7, 東京.
- 24) 南村哲司, 湯口 卓, 長田拓哉, 笹原孝太郎, 野澤聡志, 岸本浩史, 魚谷英之, 坂東 正, 阿部秀樹, 廣川慎一郎, 塚田一博: 大腸癌術後症例に対する経口夜間投与療法. 第65回日本臨床外科学会総会, 2003, 11, 福岡.
- 25) 坂東 正, 津田祐子, 長田拓哉, 野澤聡志, 霜田光義, 塚田一博, 田中三千雄: 長期生存した原発性肝細胞癌合併食道胃静脈瘤の5例. 第65回日本消化器内視鏡学会総会, 2003, 5, 福岡.
- 26) 坂東 正, 山岸文範, 井原祐治, 南村哲司, 塚田一博: 大腸癌における14q32領域の染色体欠失と長期予後に関する検討. 第103回日本外科学会総会, 2003, 6, 札幌.
- 27) 坂東 正, 渋谷和人, 津田祐子, 長田拓哉, 野澤聡志, 塚田一博, 霜田光義: マイクロ波凝固併用肝部分切除術. 第58回日本消化器外科学会総会, 2003, 7, 東京.
- 28) 坂東 正, 津田祐子, 長田拓哉, 野澤聡志, 霜田光義, 塚田一博: 長径5 cm以上の進行原発性肝細胞癌の治療成績の検討. 第7回日本肝臓学会大会(DDW Japan) 2003, 10, 大阪.
- 29) 坂東 正, 津田祐子, 長田拓哉, 野澤聡志, 阿部秀樹, 塚田一博, 霜田光義: 高齢者肝細胞癌切除例の検討. 第65回日本臨床外科学会総会, 2003, 11, 福岡.
- 30) 坂東 正, 渋谷和人, 津田祐子, 長田拓哉, 野澤聡志, 笹原孝太郎, 魚谷英之, 阿部秀樹, 南村

- 哲司, 塚田一博, 霜田光義: 原発性肝細胞癌切除症例の術前肝予備能評価. 第15回日本肝胆膵外科学会総会, 2003, 5, 金沢.
- 31) 魚谷英之, 廣川慎一郎, 塚田一博: 小児鼠径ヘルニアにおける外科手術部位感染 (Surgical Site Infection, SSI) の検討. 第40回日本小児外科学会総会, 2003, 5, 京都.
- 32) 魚谷英之, 笹原孝太郎, 長田拓哉, 坂東 正, 南村哲司, 濱名俊泰, 齊藤光和, 廣川慎一郎, 塚田一博: 肝切除後の血中可溶性E-selectin値の変化と術後肝機能障害. 第103回日本外科学会定期学術集会,
- 33) 魚谷英之, 廣川慎一郎, 塚田一博: 胃瘻チューブ抜去困難症を来した1例—在宅胃瘻管理でのピットフォール. 第30回日本小児内視鏡研究会, 2003, 7, 横浜.
- 34) 魚谷英之, 笹原孝太郎, 齊藤光和, 坂東 正, 南村哲司, 廣川慎一郎, 塚田一博: 進行胃癌に対する術前化学療法として5Fu-CDDP (FP) 療法の効果. 第58回日本消化器外科学会総会, 2003, 7, 東京.
- 35) 笹原孝太郎, 岸本浩史, 高橋博之, 長田拓哉, 魚谷英之, 坂東 正, 南村哲司, 塚田一博: 肝虚血再灌流障害と肝細胞アポトーシス, 肝転移の検討. 第103回日本外科学会, 2003, 6, 札幌.
- 36) 笹原孝太郎, 高橋博之, 長田拓哉, 野本一博, 岸本浩史, 山崎一麿, 魚谷英之, 坂東 正, 南村哲司, 塚田一博: 肝虚血再灌流障害と肝転移, Glycyrrhizinによる肝転移抑制効果. 第58回日本消化器外科学会総会, 2003, 7, 東京.
- 37) 笹原孝太郎, 高橋博之, 湯口 卓, 長田拓哉, 野本一博, 岸本浩史, 野澤聡志, 魚谷英之, 坂東 正, 南村哲司, 阿部秀樹, 齊藤光和, 廣川慎一郎, 塚田一博, 田中三千雄: EMR後に粘液癌で遺残再発した大腸腫瘍の1例. 第66回日本消化器内視鏡学会, 2003, 10, 大阪.
- 38) 笹原孝太郎, 高橋博之, 長田拓哉, 岸本浩史, 魚谷英之, 坂東 正, 南村哲司, 塚田一博: 肝虚血再灌流障害における肝転移の増加. 第8回肝循環懇話会, 2003, 3, 東京.
- 39) 野澤聡志, 阿部英樹, 笹原孝太郎, 長田拓哉, 塚田一博: 膵液細胞診でclass IIIであった分枝型IPMTの1例. 第15回日本肝胆膵外科学会, 2003, 5, 金沢.
- 40) 野澤聡志, 宮崎 勝, 塚田一博, Ian F.C. McKenzie, Donald V. Cramer: Gal ノックアウトマウスにおける抗alpha-(1,3)gal抗体の特徴—ブター人異種移植における免疫系解析モデルとしての有用性—. 第103回日本外科学会定期学術集会, 2003, 6, 札幌.
- 41) 野澤聡志, 坂東 正, 齊藤光和, 廣川慎一郎, 阿部秀樹, 南村哲司, 魚谷英之, 笹原孝太郎, 長田拓哉, 塚田一博: 内視鏡的生検を契機に腫瘍内膿瘍を形成した胃GISTの一例. 第58回日本消化器外科学会総会, 2003, 7, 東京.
- 42) 横山義信, 齋藤素子, 山田 明, 阿部要一, 塚田一博: 当院におけるイレウス手術症例の検討. 第76回日本腹部救急医学会, 2003, 7, 弘前.
- 43) 長田拓哉, 南村哲司, 笹原孝太郎, 坂東 正, 阿部秀樹, 塚田一博: 大腸癌肝転移に対する肝切除施行症例の検討. 第15回日本肝胆膵外科学会, 2003, 5, 金沢.
- 44) 長田拓哉, 魚谷英之, 笹原孝太郎, 阿部秀樹, 廣川慎一郎, 塚田一博: 糞便性イレウスによる閉塞性大腸炎の一例. 第58回日本消化器外科学会総会, 2003, 7, 東京.
- 45) 長田拓哉, 坂東 正, 塚田一博: 特発性門脈圧亢進症患者における摘出脾および脾臓摘出後の活性化リンパ球の推移について. 第10回日本門脈圧亢進症学会総会, 2003, 9, 横浜.
- 46) 長田拓哉, 坂東 正, 笹原孝太郎, 野澤聡志, 阿部秀樹, 塚田一博: 門脈圧亢進症患者における脾臓摘出後の活性化リンパ球の推移. 第65回日本臨床外科学会総会, 2003, 11, 福岡.
- 47) 大西康晴, 梨本 篤, 藪崎 裕: Krukenberg陽性胃癌の検討. 第75回日本胃癌学会総会, 2003, 東京.
- 48) 遠藤暢人, 長田拓哉, 塚田一博, 吉田 純, 水野正明, 佐藤雄一郎: 膵癌に対するヒト β 型インターフェロン包埋リポソーム遺伝子治療の有効性. 第62回日本癌学会総会, 2003, 9, 名古屋.
- 49) 関根慎一, 長田拓哉, 笹原孝太郎, 魚谷英之, 坂東 正, 南村哲司, 阿部秀樹, 廣川慎一郎, 塚田一博: 胃癌肝転移切除後9年を経て再発を来した一例. 第39回中部外科学会総会, 2003, 9, 名古屋.
- 50) 福田貴代, 魚谷英之, 塚田一博, 廣川慎一郎: ソケイ部腫瘍の2例. 第33回日本小児外科学会北陸地方会, 2003, 9, 福井.

◆ その他

- 1) 塚田一博: 胆道癌治療の現況. 第23回旭川胆道疾患研究会, 2003, 8, 旭川.
- 2) 清水哲朗, 長堀 毅, 川崎 聡, 國谷 等, 谷地弘子, 関千鶴子, 谷畑祐子, 村田美代子, 小路

- 聡美, 山田悦子, 高野弘文, 加藤弘巳: 富山県内病院の SARS対策—一般病院の対応. 第13回富山県感染対策研究会, 2003, 9, 富山.
- 3) 清水哲朗, 大澤宗士, 稲木紀幸, 菅原浩之, 新保雅宏, 霜田光義, 村田修一, 若狭林一郎: 内視鏡的粘膜切除術を施行した胃腺腫症例. 第2回呉西消化器疾患談話会, 2003, 11, 高岡.
- 4) 大上英夫, 柄戸美智代, 五艘有紀子, 島倉淳泰, 中山博文, 老子善康, 坂井尚登, 山西久美子, 平井信行, 高田正信: 当院におけるヒヤリハット事例等の検討. 第3回富山県公的病院安全医療研究会, 2003, 6, 富山.
- 5) 南村哲司: 大腸早期癌の治療. 第19回北陸大腸疾患研究会, 2003.11, 富山.
- 6) 南村哲司: 潰瘍性大腸炎・クローン病の外科的治療. 第231回富山消化器疾患懇話会. 2003, 11, 富山.
- 7) 長田拓哉, 南村哲司, 坂東 正, 塚田一博: 急性腹症の2例. 第2回地域の先生との医療連携研修会, 2003, 7, 富山.
- 8) 長田拓哉, 野本一博, 津田祐子, 笹原孝太郎, 野澤聡志, 魚谷英之, 南村哲司, 坂東 正, 阿部秀樹, 塚田一博: 生体肝移植患者における胆汁の変化と術後経過の検討. 第7回北陸肝臓外科研究会, 2003, 8, 金沢.
- 9) 齊藤素子, 山田 明, 新保雅宏, 阿部要一: 当科における十二指腸潰瘍穿孔例の検討. 第77回新潟消化器病研究会, 2003, 2, 新潟.
- 10) 澤田成朗, 草間昭夫, 長倉成憲, 多々 孝, 島影尚弘, 内田克之, 岡村直孝, 田島健三: 熱傷による外傷性食道破裂の一例. 第257回新潟外科集談会, 2003, 12, 新潟.
- 11) 吉田徹, 山岸文範, 長 誠司, 新井英樹: 尾状葉切除におけるテーピングを用いた工夫. 上越外科検討会, 2003, 3, 上越.
- 12) 松岡二郎, 長 誠司, 澤田成朗, 吉田 徹, 山岸文範, 新井英樹: 副乳癌の1例. 第16回新潟県厚生連外科医会, 2003, 6, 新潟.
- 13) 松岡二郎, 長 誠司, 澤田成朗, 吉田 徹, 山岸文範, 新井英樹: 十二指腸浸潤をきたした早期胃癌の1例. 第54回上越外科検討会, 2003, 8, 新潟.
- 14) 神山公希, 松岡二郎, 河合健吾, 遠藤暢人, 松井恒志, 堀 亮太, 吉岡伊作, 野村直樹, 山下巖, 杉山茂 樹, 宗像周二, 桐山誠一, 塚田一博: 当院における腹腔鏡下虫垂切除術の現状と検討. 東名厚木病院開放病床症例検討会, 2003, 1, 神奈川.
- 15) 大澤宗士, 長田拓哉, 野本一博, 笹原孝太郎, 野澤聡志, 魚谷英之, 南村哲司, 坂東 正, 阿部秀樹, 塚田一博: 当科で経験した生体肝移植ドナーにおける術前肝予備能と術後の検討. 第4回手術侵襲セミナー, 2003, 6, 富山.
- 16) 大澤宗士, 阿部秀樹, 横山義信, 長田拓哉, 野澤聡志, 坂東 正, 塚田一博: Celiac axis stenosisを伴う膵頭部癌の1例. 第90回北陸肝胆膵勉強会年度末大会, 2003, 12, 金沢.